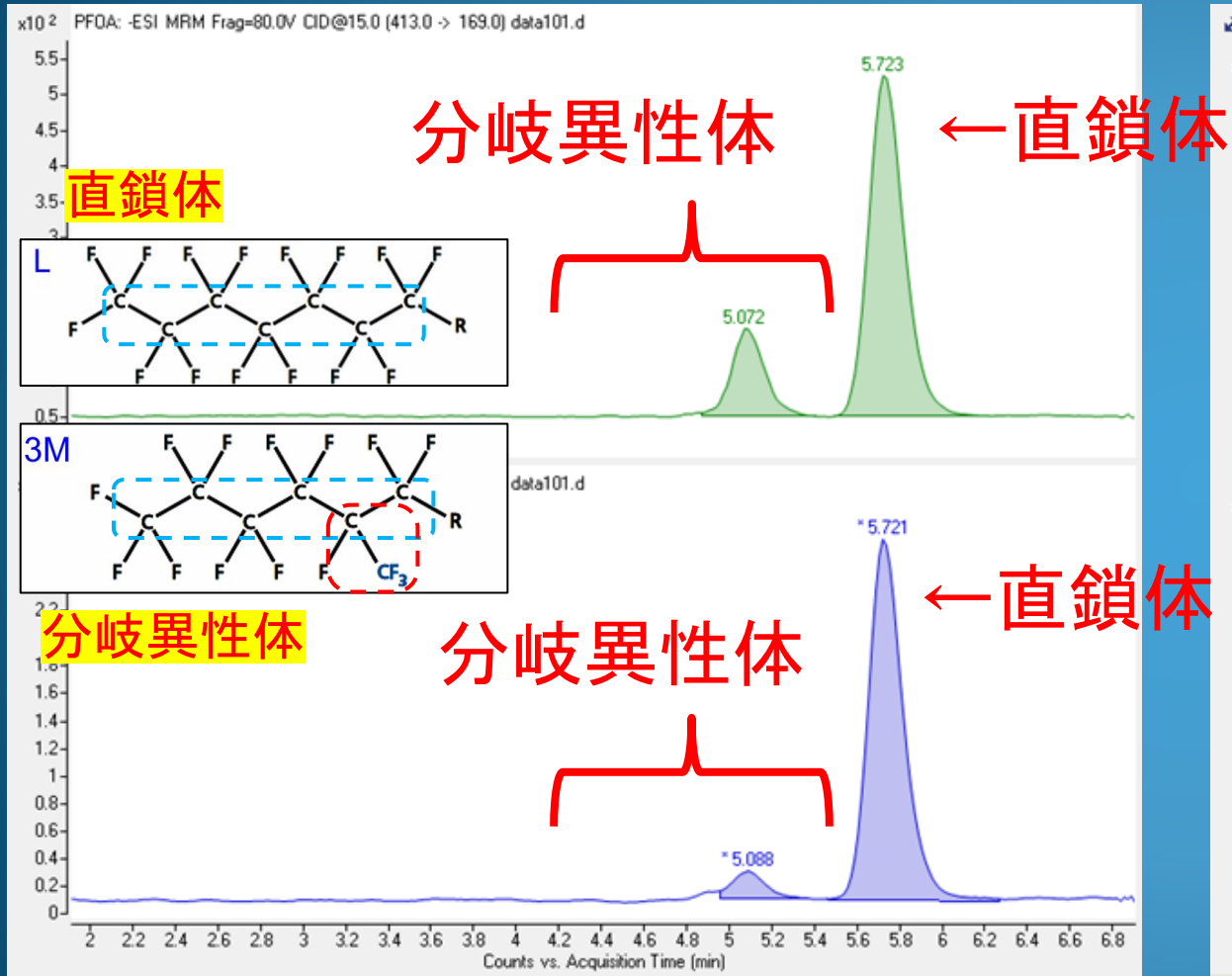
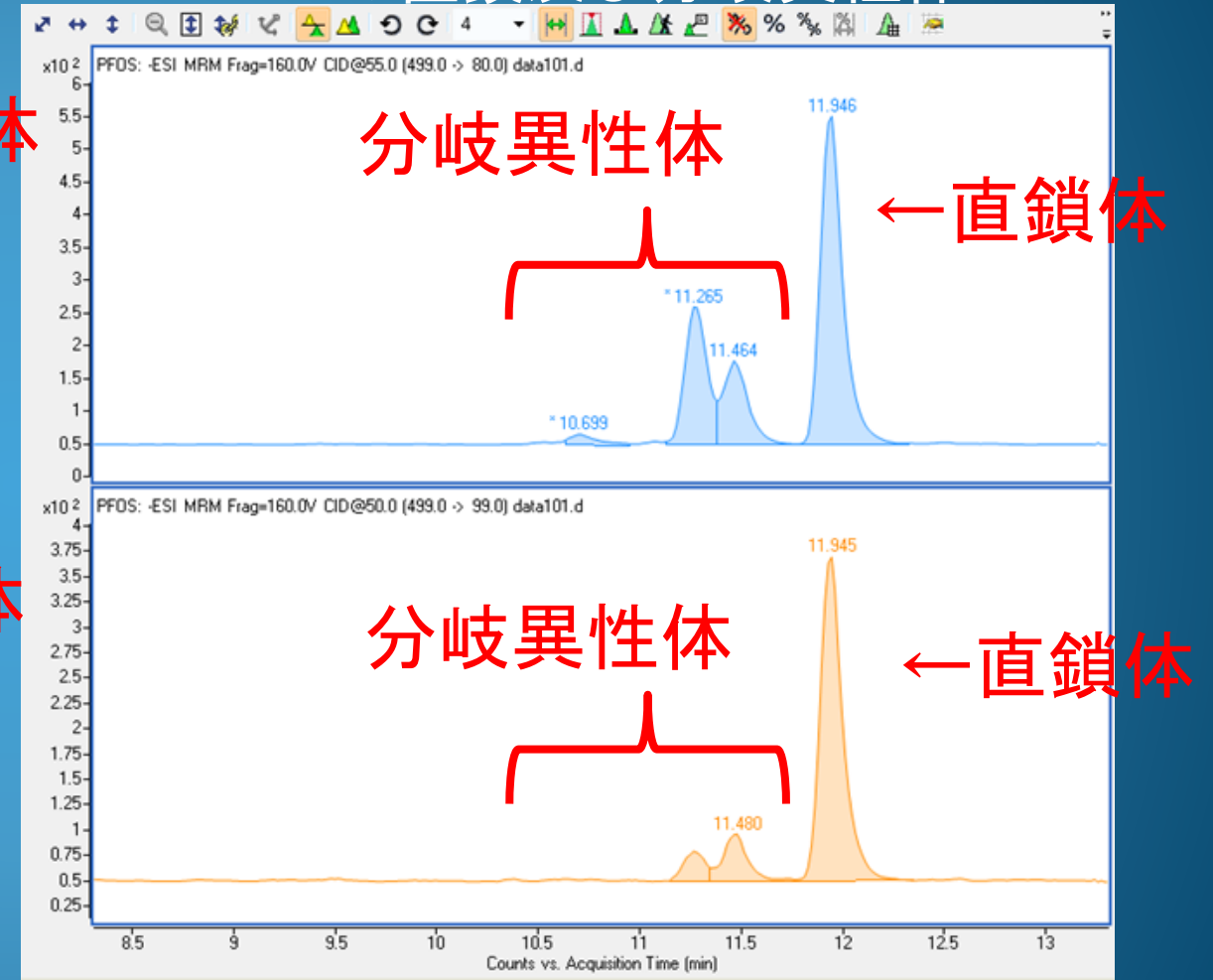


PFAS分析：直鎖と分岐鎖の違い

PFOAの直鎖及び分岐異性体



PFOSの直鎖及び分岐異性体



PFASには、炭素鎖が直線状につながった「直鎖体」と、一部が枝分かれした「分岐異性体」が存在します。上の図で示す通り、同じPFOS・PFOAでも異性体によってLC/MSでの保持時間が異なるため、クロマトグラム上では別々のピークとして検出されます。

PFAS分析：直鎖と分岐鎖の取扱い

○水道水

水道法に基づく検査方法に従い、PFOS及びPFOAについて、それぞれ直鎖体と分岐異性体を合わせて定量・報告します。

○環境水

環境省の通知法に従い、直鎖体と分岐異性体を合わせて定量します。分岐異性体については、それぞれ直鎖体と分岐異性体を合わせて定量・報告します。

○製品

製品検査については、水道水や環境水のような統一的な公定法がないため、お客様から指定がない場合は、原則として直鎖体のみを定量・報告しています。**なお、化審法では、2024年9月から「PFOAの分枝異性体又はその塩」が第一種特定化学物質に追加されています。また、2025年1月からPFOA関連物質も追加されているため、化審法への適合性確認を目的とする場合は、分岐異性体を含めた評価が必要となる場合があります。**

○排水

排水については、直鎖体と分岐異性体の取扱いについて一律の規定はありません。また、JIS K 0450-70-10では直鎖体を測定対象としています。このため、お客様から指定がない場合は、原則として直鎖体のみを定量・報告しています。